

明治三十三年
五月八日
第三種郵便物認可
（毎月四日十四日廿四日三回發行）

縣報

第五拾參號

明治卅四年九月廿四日

和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第五十三號

明治三十四年九月和歌山縣告示第百八十四號縣歲入追加税ノ徵收期日ハ明治三十四年度縣稅後半期ト同時トス

明治三十四年九月十三日

和歌山縣知事

椿 兼一郎

縣報第五十三號

明治三十四年九月二十四日

第三種郵便物認可

二

麻澤山線

○和歌山縣令第五十四號

炭疽熱發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年九月十三日

和歌山縣知事

椿

素一郎

一海草郡西和佐村大字出島(通稱八軒家ヲ除ク)一圓

縣報第五十三號

明治三十四年九月二十四日

第三種郵便物認可

四

○和歌山縣令第五十五號

明治三十四年八月本縣令第五十一號ハ本日限り廢止ス

明治三十四年九月十四日

和歌山縣知事

椿

素一郎

和歌山縣令第五十五號參照

明治三十四年八月本縣令第五十一號ハ炭疽熱發生ニ付牛馬羊豚ノ出入往來停止ノ件

雜誌第五十三號

明治三十四年九月二十四日

第三種郵便物認可

六

○和歌山縣令第五十六號

河川敷地及堤塘使用規則左之通相定ム

明治三十四年九月十八日

和歌山縣知事

椿 葉一郎

河川敷地及堤塘使用規則

第一條 河川敷地及縣費ヲ以テ修理保存ノ費用ヲ負擔スル堤塘ノ使用ハ此規則ニ據ル

第二條 河川敷地及堤塘ハ從來使用ノ慣行アルモノニシテ其河川又ハ堤塘ノ保存若クハ治

水上ニ障害ナシト認定シタル個所ニ限り使用ヲ許可ス

第三條 郡市町村其他公共組合等ニ於テ出水防禦ノ用ニ供スル器具及材料置場ヲ堤塘上ニ

設置セムトスルトキハ新ニ使用ヲ許可スルコトアルベシ

第四條 河川敷地及堤塘ヲ繼續使用セムトスルモノハ期間滿了ノ月ヨリ遅クモ三ヶ月以前

ニ第一號様式ニ倣ヒタル願書ニ使用區域ノ長幅間數及四隣ノ地形ヲ示シタル繪圖ヲ添付

差出スベシ

使用人前項ノ手續ヲ爲サザルトキハ繼續希望セザルモノト看做シ他へ使用ヲ許スコトア

ルベシ家督相續其他ノ事故ニ依リ使用者ノ變換ヲ要スルトキハ出願許可ヲ受クベシ

第五條 使用人前條ノ許可ヲ受ケタルトキハ指令受領ノ日ヨリ十日以内ニ第二號様式ニ倣

ヒタル請書ヲ差出スベシ

前項期間内ニ請書ヲ差出サザルトキハ許可ノ効ヲ失フモノトス

第六條 使用期間ハ第三條ノ使用ニ限リ十年以内トシ其他ハ五ヶ年以内トス

第七條 使用料金ハ其土地所屬大字ニ在ル類地ニ比準シ地價ヲ假定シ其百分ノ五以上トス
若シ其大字ニ於テ類地ナキトキハ最近ナル他ノ大字ニ於テ之ヲ選擇スルコトヲ得但第三
條ノ使用ニ限り使用料金ヲ免除ス

第八條 使用人申立ノ料金ニシテ不適當ト認ムルトキハ本廳ニ於テ之ヲ指定スルコトアル
ベシ

第九條 使用人ハ特ニ許可ヲ受クルニアラザレバ當初出願ノ使用目的以外ニ之ヲ使用スル
コトヲ得ズ

第十條 樹木培養又ハ家屋建設ノ目的ヲ以テ繼續使用ノ許可ヲ得タルモノト雖新ニ樹木ヲ
植付ク又ハ家屋ヲ建築スルコトヲ得ズ

第十一條 使用ノ區域内ニ於テ樹木ノ根株ヲ掘取リ又ハ垣籬ヲ設ク若クハ地盤ヲ掘鑿スル
等ノ行爲ハ特ニ出願許可ヲ受クベシ

第十二條 使用權ハ擔保ニ供シ又ハ他ニ移スコトヲ得ズ

第十三條 使用ノ個所ニハ其區域ヲ判明ナラシムル爲メ使用人ノ往所姓名ヲ記シタル標杭
ヲ建設スベシ

第十四條 出水ニ方リ防禦上必要ナリト認ムルトキハ使用人所有ノ樹竹若クハ物件ヲ無償
ニテ伐採又ハ撤去スルコトアルヘシ

第十五條 使用人所有ノ樹竹成長繁茂シ又ハ其他ノ物件ニシテ堤塘ノ保持若クハ治水上ニ
障害アリト認定シタルトキハ期限ヲ定メ其樹竹及物件ヲ無償ニテ使用人ニ伐採又ハ撤去

ヲ命シ其他使用上制限ヲ加フルコトアルベシ

第十六條 使用人ハ都合ニ依リ期限内返地スルトキハ其地上物件ヲ取拂原形ニ復シタル後
又出水ノ爲メ使用地ノ全部若クハ一部流失シタルトキハ其年月日ヲ掲ゲ十日以内ニ届出
サベシ

一節ノ返地ニ付テハ殘地ノ境界ヲ示シタル丈量圖ヲ添付スベシ

第十七條 土地ノ使用ガ治水上其他其公益上障害アルヲ發見シ又ハ堤塘ノ修理ヲ要スル等
必要ヲ生ジタルトキハ期限ヲ定メ無償ニテ使用ノ全部又ハ一部ノ返地ヲ命ズルコトアル
ベシ

第十八條 使用人本則ノ規定ニ違背シ土地ノ現形ヲ變シ若クハ故意怠慢ニ由リ之ヲ荒廢ニ
歸シ又ハ毀損亡失セシメタルトキハ其損害ヲ賠償セシムルコトアルベシ

第十九條 使用人本則ノ規定ニ違背シ又ハ本則ニ依リ發スル命令ニ從ハザルトキハ使用ノ
許可ヲ取消スコトアルベシ

第二十條 本則又ハ本則ノ規定ニ基キ發スル命令ニ據リ使用人ノ爲スベキ行爲ニシテ使用
人之ヲ怠ルトキ又ハ之ヲ爲スモ不完全ト認ムルトキハ本廳ニ於テ之ヲ執行シ又ハ他人ヲ
シテ執行セシムルコトアルベシ

前項執行ニ要スル費用ハ使用人ヨリ徵收ス

第二十一條 本則第十九條ニ依リ許可ヲ取消サレ又ハ使用期限滿了ノ場合ニ於テハ三十日
以内ニ第十七條ニ依リ返地ヲ命ゼラレタル場合ニ於テハ其期限内ニ所有物件ヲ取拂ヒ原

形ニ復スベシ若シ各其期限内ニ取拂ハザルトキハ其物件ハ縣ノ所得トス

附 則

第二十二條 本則ハ明治三十四年十月一日ヨリ施行ス

第二十三條 明治三十四年六月本縣告示第六十二號官有借用人心得中本則ニ抵觸スル廉ハ

本則施行ノ日ヨリ廢止ス

第二十四條 現ニ使用期限内ニ係ルモノハ其各期限ノ滿ルマデ總テ從前ノ規則ニ依ル

第二十五條 本則第四條乃至第二十四條ハ總テノ公有土地水面ノ使用ニモ之ヲ準用ス

(第一號様式)

官地繼續使用願

何河川寄洲又ハ堤塘

一 何反何畝歩 但使用ノ個所ハ何郡何村大字何字何々番別紙圖面ノ區域

一 使用期限 自何年何月 何ヶ年間
至何年何月 何ヶ年間

一 使用目的 耕作又ハ何々

一 一ヶ年使用料金何程 但類地大字何何番畑壹反步地價何程ニ比準算出ス

右何年何月ヨリ何年何月迄使用御許可ヲ得有之候處尙何ヶ年間繼續使用仕度就テハ明治三

十四年九月縣令第五十六號ノ各條項遵守可仕候間御許可相成度圖面相添此段相願候也

年 月 日

何郡何町 大字何々何番地
何市何村

知事宛

何之謹印

(第二號樣式)

印紙

請書

何郡何村大字何字何番何川筋寄洲又ハ堤塘

一何反何畝步

使用期限自何年何月何ヶ年間

使用目的耕作又ハ何々

一ヶ年使用料金何程

右使用之義明治何年何月何日和歌山縣指令内二第何號ヲ以テ御許可相成候ニ就テハ明治三十四年縣令第五十六號ノ各條項墜ク遵守可仕候因テ請書差上候也

年月日

何郡何町大字何番地

何村之誰印

知事宛

縣制第五十三號

明治三十四年九月二十四日

第三種郵便物認可

十二

○和歌山縣令第五十七號

公有水面埋立規則左之通相定ム

明治三十四年九月十九日

和歌山縣知事 椿 泰一郎

公有水面埋立規則

第一條 官ニ属スル公有水面ノ埋立ヲ爲サムトスル者ハ此規則ニ據リ出願スベシ

第二條 埋立ハ治水上其他公益上支障ナシト認ムル場所ニ限リ之ヲ免許ス

但公益上必要アルモノ又ハ特別ノ事由アルモノヲ除ク外ハ五ヶ年以内ニ成功シ得ヘキ

モノニ限ル

第三條 埋立願書ハ第一號様式ニ依リ調製シ精密ナル左ノ圖書各參通ヲ添付スベシ

一見取圖

一實測圖

一埋立設計書

一工事方法書

但見取圖ニハ埋立ノ位置、方法、道路、溝渠等ノ現状其他附近ノ地勢ヲ摸寫シ實測圖
ニハ三斜法ヲ以テ埋立區域ノ坪數ヲ積算スベシ設計書ニハ埋立ノ計畫工費ノ計算ヲ記
載シ方法書ニハ工事ノ仕様ヲ記載スベシ

第四條 埋立ノ位置ト季節トニ依リ通船ノ便利利用悪水ノ疏通等ニ關係アル個所ハ其之ニ對
スル設計書及方法書ハ別ニ調製提出スベシ

第五條 埋立ニ關スル願書類ハ埋立地所屬ノ市町村長及郡長ヲ經由スベシ

第六條 埋立願書ヲ受理シタル市町村長ハ埋立ニ關スル利害ニ就キ市町村會ノ意見書ヲ添へ進達スベシ

第七條 願人免許ヲ得タルトキハ其指令受領ノ日ヨリ三十日以内ニ第貳號様式ニ依リ請書ヲ差出シ且工事ニ着手スベシ成功ノ期限ハ免許ノ際之ヲ定ム但シ着手シタルトキハ其旨直ニ本廳及其地ヲ管轄スル土木工區出張所へ届出ヅベシ

第八條 願人前條ノ期限内ニ受書ヲ差出サズ又ハ工事ニ着手セザルトキハ免許權ハ其効ヲ失フモノトス

第九條 埋立中天災事變ノ爲メ既成工事ノ一部又ハ全部破壊若クハ流失等著ク變動ヲ來シタルトキハ其形狀ヲ描寫セル見取圖ヲ添へ直ニ届出ツヘシ

第十條 天災事變ノ爲メ期限内ニ着手若クハ成功シ難キ事情アリタルトキハ其事由ノ止ミタル後壹ヶ月以内ニ出願スルニ於テハ相當ノ延期ヲ許可スルコトアルベシ

第十一條 埋立ノ區域又ハ設計及工事ノ方法ハ許可ヲ受クルニアラザレバ變更スルコトヲ得ス

第十二條 免許權ハ擔保貸付ニ供シ又ハ他ニ移スコトヲ得ズ

第十三條 埋立免許ヲ與ヘタル後ト雖其成功ノ認可ヲ與フルマデハ公益上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ必要ナル命令ヲ發シ又ハ命令ノ條項ヲ増減變更シ或ハ工事ヲ停止シ若クハ禁止スルコトアルベシ

第十四條 埋立工事ノ爲メ他ニ障害ヲ加ヘ又ハ加ヘントスルノ虞アリト認ムルトキハ願人ノ費用ヲ以テ之ヲ除カシメ又ハ豫防セシムルコトアルベシ

願人若シ之ヲ怠ルトキハ本廳ニ於テ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ執行セシメ其費用ハ願人ヨリ徴收ス

第十五條 本則又ハ本則ノ規程ニ依リ發スル命令ニ從ハサルトキハ之ヨリ生シタル損害ヲ賠償セシムベキハ勿論不免許ヲ取消スコトアルベシ

第十六條 第十三條及第十五條ノ處分ニ依リ埋立免許權ヲ失ヒタルトキ又ハ願人ノ都合ニ依リ埋立工事中止シ又ハ中途廢止シタル場合ニ於テ既成工事ニシテ他ニ障害ヲ及ボスト認ルトキハ本廳ノ指定スル期限内ニ之ヲ除却スベシ願人若シ之ヲ怠ルトキハ本則第十四條第三項ヲ適用ス

第十七條 本則又ハ本則ノ規定ニ基キ發スル命令ニ因リ願人ニ何等ノ損害ヲ生スルコトアルモ本廳ハ其責ニ任セズ

第十八條 許可ヲ受ケスシテ埋立ノ區域又ハ設計及方法ヲ變更シ其他工事不完全ニシテ公益上危害ノ虞アリト認ムルトキハ更ニ一定ノ期間ニ改造ヲ命スルコトアルベシ

第十九條 埋立成功シタルトキハ七日以内ニ其成功ニ係ル實測圖ヲ送ヘ成功ノ認可ヲ受ケベシ第十八條ニ依リ改造ノ場合又同シ

第二十條 埋立成功地ニシテ道路、溝渠、物揚場等公共上必要アル個所ハ無償ニシテ官有地トナスヘシ

前項官有地トナスベキ地區ハ豫メ之ヲ指定スベシ

第二十一條 願入埋立成功認可ヲ得タルトキハ其指令受領ノ日ヨリ七日以内ニ前條ノ土地

ヲ除キ第參號樣式ニ依リ埋立地ノ下渡又ハ貸渡ヲ出願スベシ

第二十二條 本則ハ官ニ屬スル私有水面ノ埋立ニモ之ヲ準用ス

但其埋立テムトスル私有水面ハ別ニ定メル規則ニ依リ賣渡シ又ハ貸渡シ之ヲ埋立シム

第二十三條 本則ハ明治三十四年十月一日ヨリ施行ス

(壹號樣式)

公有水面埋立願

何郡何町大字何字何番地先

一海面 何拾坪

一埋立期限

工事着手ノ日ヨリ何十日間

一埋立ノ目的

宅地又ハ何々敷地ニ供スル見込

一埋立地ノ處分

埋立地ノ内何坪ハ物揚又ハ道路溝渠敷地トシテ官有トシ殘坪數ハ無

代價ニテ下渡又ハ何ケ年間貸渡ヲ受度

一埋立ヲ必要トスル事由 何々

右埋立之義御許可相成度明治三十四年縣令第五十七號ノ各條項堅ク遵守可仕此段相願候也

年 月 日

何郡何町大字何々番地

和歌山縣知事宛

職業 何之誰 ㊦

(貳號樣式)

請書

何郡何町大字何字何番地先

一海面 何拾坪

右埋立ノ義本年何月何日内二第何號ヲ以テ御許可相成候ニ就テハ明治三十四年縣令第五十七號ノ各條項ハ勿論尙今般御命令ノ左記條件トモ堅ク遵守可仕候依テ請書差上候也

年月日

何郡何町大字何番地

何之誰 ㊦

和歌山縣知事宛

命令ノ條件

一何々

一何々

右

(三號樣式)

埋立地下渡(貸渡)願

何郡何町大字何字何番地先

一水前埋立地、何拾坪

右ハ何年何月何日内ニ第何號ヲ以テ埋立成功認可相成候ニ付テハ無代下渡(又ハ五ヶ年間
貸渡)相成度此段相願候也

年月日

和歌山縣知事宛

何郡何町大字何々番地

何之

誰印

○訓令

○和歌山縣訓令甲第五十九號

陸軍召集條例第四條第二項及海軍召集條例第四條第二項ニ依リ部下官吏ヲシテ左記日割ノ
通其ノ官衙公署ニ於ケル陸海軍召集事務ノ整否ヲ檢閲セシムヘキニ依リ召集準備書類悉皆
携帶ノ上指定ノ當日午前八時迄ニ檢査場ニ出張スヘシ

但シ徵發事務モ併セテ閱視セシムヘキニ依リ該書類ヲ携帶スヘシ
明治三十四年九月廿一日
和歌山縣知事 棗一郎

檢査月日 檢査場
九月廿五日 有田郡役所
檢査ヲ受クヘキ官衙公署名 町村ノ下ニ
役場ヲ略ス

同 廿六日 同
湯淺町 箕島町 廣村 田栖川村
南原村 宮原村 糸我村 保田村 津木村 藤並村

同 廿七日 同
鳥屋城村 田織村 岩倉村
五西引村 石垣村 御雲村 生石村 安誦村 五村

城山村 八幡村

有田 各郡役所
日高 各郡警察署
同 各郡警察署
同 分署
同 町村役場

同 廿九日 日高郡役所

日高郡役所 日高郡警察署 由良分署 糠屋村 松原村

同 三十日 同

和州村 由良村 湯川村 白崎村 志賀村
三尾村 名田村 比井崎村 衣奈村 御坊町 野口村

十月一日 同

東内原村 西内原村 稻原村 矢田村
丹生村 川上村 川中村 藤田村 印南町 眞妻村

同 三日 南部町役場

早蘇村 寒川村 船着村
南部分署 上山路分署 南部町 切目村 上南部村

同 四日 同

切目川村 岩代村 清川村
上山路村 中山路村 下山路村 龍神村 高城村

○告示

○和歌山縣告示第九十一號

兵庫縣下ニ於テ本年九月一日ヨリ三日迄流行性驚口瘡ニ罹リタルモノ並ニ全治斃死セシモノ左記ノ通り通知アリタリ

明治三十四年九月十二日

九月二日 神戸市葺合町

發生豚 一頭

和歌山縣知事

椿 葉一郎

九月三日 全上

發生豚 一頭

全治牛八頭

斃死豚二頭

○和歌山縣告示第九十二號

當縣々會議員小笠原譽至夫今般辭任ニ付補欠選舉ヲ行フ其選舉區投票行フヘキ日時并ニ選舉スヘキ議員ノ員數左ノ如シ

一 選舉區 和歌山市

二 投票日時 明治三十四年十月五日午前七時ニ始メ午後二時ニ終ル

三 議員數 壹人

明治三十四年九月十二日

和歌山縣知事

椿 葉一郎

○和歌山縣告示第九十三號

島根縣ニ於テ寄附金品募集ニ關シ左記ノ縣令發布ノ旨通知アリタリ

明治三十四年九月十三日

和歌山縣知事

椿 葉一郎

島根縣令第一百十六號

寄附金品募集ニ關スル件左ノ通定ム

明治三十四年八月三十一日

島根縣知事

金尾稜殿

第一條 明治三十一年七月内務省令第六號第三條及第四條ニ據リ許可ヲ受クヘキモノヲ除ク外何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ寄付金又ハ寄付物品ヲ募集セントスル者ハ其ノ目的方法金額區域及期間ヲ詳記シ所轄警察官署ニ願出許可ヲ受クヘシ但他府縣在籍者ニシテ本縣内ニ於テ募集ヲ爲サムトスルトキハ募集地警察官署ニ願出ツヘシ若シ募集ノ區域ニ以上ノ警察官署ニ亘ルトキハ最初募集ニ從事スヘキ地ノ警察官署ニ願出ツヘシ

前項願出ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第二條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者他人ヲシテ募集ニ從事セシメントスルトキハ其住所氏名職業年齢ヲ記シタル願書ヲ當初許可ヲ受ケタル警察官署ニ差出シ認可ヲ受クヘシ

第三條 第一條ノ許可ヲ受ケタルモノト雖警察官署ニ於テ募集ニ關シ不都合ノ行爲アリト

認ムルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第四條 第一條第二條ニ違背シタル者ハ十日以下ノ拘留又ハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

附 則

第五條 明治三十一年六月本縣令第七十五號ハ廢止ス

○和歌山縣告示第九十四號

兵庫縣下ニ於テ本月二日ヨリ八日迄流行性嚔口瘡ニテ全治及斃死セシモノ左記ノ通り通知

アリタリ

明治三十四年九月十六日

和歌山縣知事

椿 義一郎

兵隊第十八號

縣下ニ於テ本月二日ヨリ八日迄流行性爲口瘡ニテ全治及斃死セシモノ別表ノ通ニ候條此段

及報告候也

明治三十四年九月九日

兵庫縣知事

服部 一三

和歌山縣御中

(別表)

九月四日 神戸市葺合町全治牛二頭斃死牛二頭

武庫郡御影町全治牛一頭

九月五日 神戸市葺合町全治十頭斃死牛二頭

九月六日 神戸市葺合町斃死家一頭

武庫郡西灘村全治牛十三頭

九月七日 神戸市葺合町全治牛四頭斃死牛一頭

九月八日 神戸市葺合町全治牛六頭斃死家一頭

神戸市荒田町全治牛六頭

○和歌山縣告示第百九十五號

由良要塞砲兵聯隊ハ來ル十月三日ヨリ左ノ豫定ヲ以テ由良及友島方面ニ於テ海正面ノ縮射

砲及實彈射擊施行セラル但シ本年ハ榴散彈射擊モ併セテ施行セラルヘキニ付射界内ハ一層危險ナルヘキヲ以テ漁船等ハ充分注意スヘシ尤モ射擊當時ハ其ノ附近認識シ易キ地點ニ於テ警戒旗(赤旗)ヲ掲ケラル

明治三十四年九月十八日

和歌山縣知事

椿 葉一郎

自十月 三日 十日間縮射砲射擊(由良方面)

自十月十一日 二日間實彈射擊(友島方面)

自十月二十四日 二日間實彈射擊(由良方面)

○和歌山縣告示第九十六號

縣下海草郡西和佐村大字出島ニ於テ本月十五日牛一頭炭疽ニ罹リ全十七日斃死セリ

明治三十四年九月廿一日

和歌山縣知事

椿 葉一郎

○和歌山縣告示第九十七號

左記ノ者死亡ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス

明治三十四年九月廿一日

和歌山縣知事

椿 葉一郎

伊都郡九度山村大字慈尊院三十七番地利歌山縣平民

丹 下 タケ

○和歌山縣告示第九十八號

左記ノ者本日頭書ノ番號ヲ以テ和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

明治三十四年九月廿一日

和歌山縣知事

椿 葉一郎

第四七九號

東牟婁郡那智村大字天満二百七十九番地和歌山縣平民

植野マヌ 明治七年一月生

○和歌山縣告示第百九十九號

兵庫縣下ニ於テ本月六日ヨリ同十三日迄獸疫ニ罹リタルモノ並ニ全治及斃死セシモノ左記
ノ通り通知アリタリ

明治三十四年九月二十一日

和歌山縣知事 袴 兼一郎

記

九月六日 (氣腫疽) 養父郡伊佐村 牛一頭 九月七日斃死

九月七日 (炭疽) 武庫郡住吉村 牛一頭 九月七日斃死

九月九日 (流行性驚口瘡以下同シ) 神戸市荒田町 全治牛四頭

九月十日 全市葺合町 全治牛十三頭 發生豚一頭

九月十一日 神戸市葺合町 全治牛十二頭 斃死豚一頭

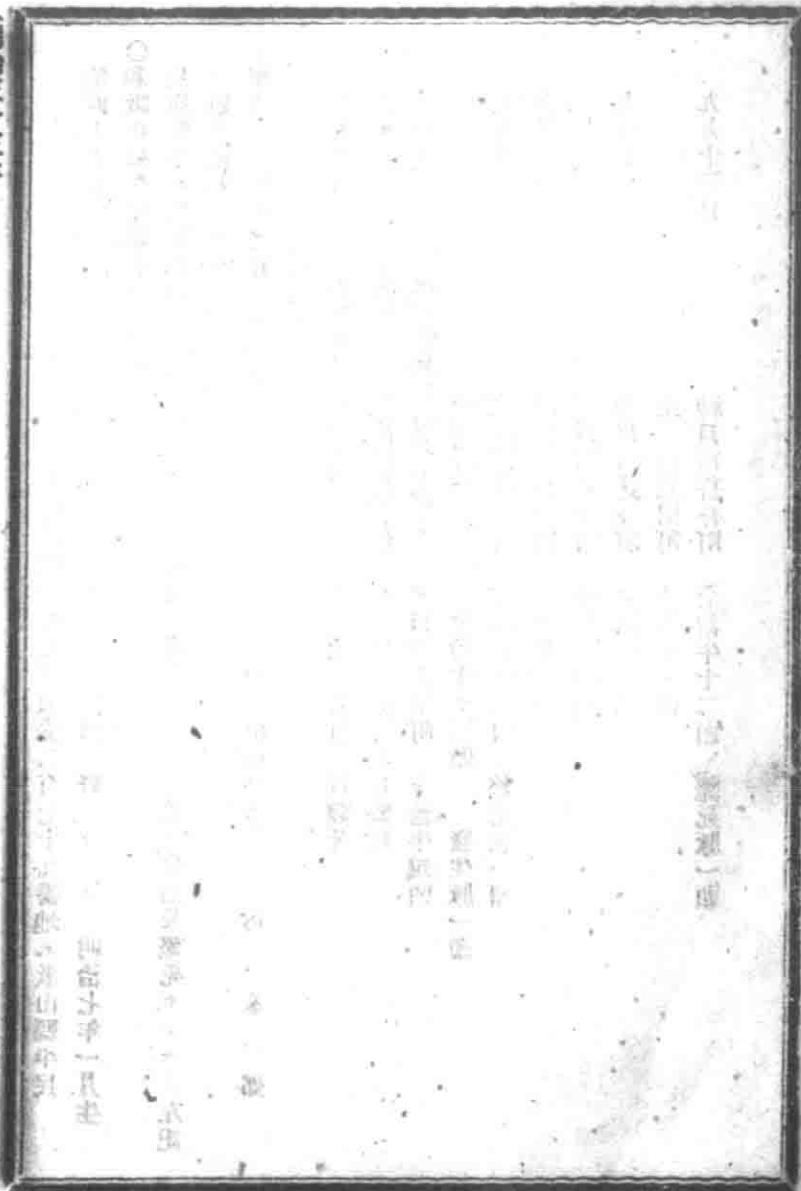
九月十一日 神戸市葺合町 全治牛一頭

九月十二日 神戸市荒田町 全治牛一頭

九月十二日 全市葺合町 全治牛三頭

九月十二日 全市荒田町 全治牛一頭

九月十二日 神戸市葺合町 全治牛十二頭 斃死豚一頭



明治三十三年

五月八日 第三種郵便物認可

(每月四日十四日廿四日三回發行)

各三十四年九月二十三日

印次山竹九費丁九番